

注意 字数が指定されている設問については、『』や『』も一マス使いなさい。答えはすべて解答用紙に記入しなさい

I 次のI〜IIIのそれぞれの問いに答えなさい

I 次の①〜③の意味に合う慣用句が完成するように、空欄に入る語をそれぞれ漢字で答えなさい

- ① 面積が狭いたとえ。：（ ）の額。
- ② 実力がなく虚勢をはるさま。：張り子の（ ）。
- ③ 進み具合が遅いさま。：（ ）の歩み。

II 次の①〜④のA、Bの傍線部のカタカナを、それぞれ異なる漢字に直して答えなさい。

- ① A 病院に十年ツトめた。 B 議長をツトめることになる。
- ② A 仏壇に花をソナえる。 B 災害にソナえる。
- ③ A 損害をホシヨウする。 B 品質をホシヨウする。
- ④ A 彼にコウイを寄せる。 B 先生のごコウイを無にする。

III 次の①〜⑥の漢字の部首として最も適当なものを一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 房 ア方 イ戸 ウ一 エ戸
- ② 廊 ア日 イ广 ウ厂 エ冂
- ③ 衆 ア皿 イノ ウ血 エイ
- ④ 裏 ア衣 イ田 ウ里 エ一
- ⑤ 菊 ア勺 イ米 ウ艹 エ木
- ⑥ 農 ア日 イ二 ウ厂 エ辰

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私自身は経験していませんが、*NASAでは*国際宇宙ステーションの時代になってから、①カナダのコールドレークという極寒の基地で真冬にサバイバル訓練をおこなっています。真冬のコールドレークは、気温がマイナス二〇℃くらいになります。この訓練では、スタート地点とゴール地点だけを決めて、六人一組の宇宙飛行士が一週間かけて、歩いてゴールを目指します。その際、リーダーはとくに決めず、②無作為に選ばれた六人で行きます。そうすると、六人の息が合っとうまくいくこともあるし、途中で仲違いして目的地に着けないこともあります。

この訓練の目的となっているのが、フォロワーシップの養成です。リーダーシップはメンバーの先頭に立って引張る能力ですが、フォロワーシップは他人の言うことをよく聞いて合わせる能力です。NASAがこのような訓練をおこなうようになったのには理由があります。ロシアと共同で宇宙計画を推進するようになって、アメリカ人宇宙飛行士たちのIの③欠如に気がついたからです。

国際宇宙ステーションは当初、アメリカを中心に西側諸国で建設しようとして計画されていました。ところが、アメリカの宇宙飛行士は最

長で三カ月間の宇宙滞在しか経験していませんでした。一方、ロシアの宇宙船ミールでは、四〇〇日間も宇宙に滞在した飛行士がいました。ロシアの有人宇宙開発技術が欲しかったアメリカは、ロシアと協定を結んで、国際宇宙ステーションの建設計画にロシアを取り込むことにしました。

【A】アメリカの宇宙飛行士をロシアに送り、ミールで滞在経験をさせることになったのですが、半年間ほど滞在して④キカンすると、⑤というわけなのか、⑥精神のバランスをくずしてしまっているのです。原因を調べてみると、フォロワーシップの不足であることがわかりました。それまで彼らは母国語の英語を使い、*コマンダーとしてリーダーシップをとっていればよかったです。それが、ミールの中ではすべてロシア語で話し、ロシア人飛行士の言うことを聞かなければなりませんでした。そのため、精神のバランスをくずしてしまったのです。

スペースシャトルに搭乗する場合、滞在期間は長くても二週間。この程度の滞在期間ならば、もし危機に直面してもIIがあれば乗り切れます。そのため、アメリカの宇宙飛行士はIIIを発揮するトレーニングしか受けてきませんでした。しかし、それでは足りないものがあつたのです。

日本人の場合はずっとチームの調和を大事にするので、子どもの頃からIVは自然と身についています。そこで企業の人材育成ではむしろ、日本人に不足しているV研修に力を置くようです。ところがじつは、⑦リーダーシップとともにフォロワーシップがあつて初めて、プロジェクトという「挑戦」は成功するのです。それをロシアの宇宙飛行士との経験から学んだNASAは、国際宇宙ステーションを建設するに当たってリーダーシップとフォロワーシップの両面から飛行士を訓練するようになりました。

以来、日本人宇宙飛行士もコールドレークのサバイバル訓練に参加しています。訓練が終わると聞き取り調査を受けるそうです。他のメンバーとの関係を中心にくわしく聞き取りをされますが、そこがアメリカらしいところで、「誰だれとは一緒に行きたくない」などと、率直なことを言います。といって、その後、行きたくないと言われた人と仲違いするわけではありません。まさにメンタリテイの違いで、⑧これは決して陰口ではなく、オープン・マインドから発せられる意見なのです。

私たち宇宙飛行士の⑨一挙手一投足はいつもビデオカメラで撮影されていますから、誰が失敗したかはすぐにわかるし、隠しても仕方ありません。⑩私はNASAの訓練で、徹底的にオープンにすれば物事はチームにとって健全な方向に進むことを学びました。

もし自分の弱点を隠し、何でもできるように見せていたら、「もっとやれ」「もっと頑張れ」と求められてしまうでしょう。とくに日本人は、能力が足りないことを恥ずかしいと思いがちです。本当はそれ以上の能力はないのに、あるように見せてしまうことがしばしばあります。【B】、結果としてそれが能力の向上に結びつく場合もありますが、チームとして見れば、必ずしも良いことではないの

です。NASAの仕事では、「この場面では、この人の能力はここまでだ」ということがわかれば、誰もそれ以上を要求しません。

宇宙飛行士はみんなエリートとして選ばれてきています。それぞれ、誰にも負けない得意分野を持っています。NASAの宇宙飛行士候補に選ばれて訓練がスタートするときは、この部分については訓練担当が何と言おうと、自分は他の人よりできるという自信もっています。【C】、プライドも非常に高い。しかし、宇宙飛行士はスーパーマンではありません。弱点もあります。訓練ではその弱点を徹底的に認識させ、弱点の部分は他の宇宙飛行士にまかせることの大切さを学びます。

その際のポイントが、オープン・マインドです。プライドを捨てるということではなく、素直な心で、自分が得意でリーダーになれる部分とフォロワーで他の人に従う部分を区別するという事です。それができるようになると、精神的にとっても楽になり、物事はうまく運ぶようになります。

私もサイエンティストとしてのプライドがありましたから、最初は「そこまでさらけ出したくない」と思って黙っていたことがありました。【D】、訓練ではそんなプライドはいとも簡単に剥ぎ取られてしまいます。失敗はすべてシミュレーションで見られているし、誰がどんな助言をしたかもわかってしまう。そのうち訓練に慣れてくると、誰が何に得意かもわかってくる。そうなるとお互い様ということ、二年近くの訓練が終了するころには徹底したオープン・マインドが身に付いています。

そうしたオープン・マインドが、とても自然で自発的なフォローアップを生み出すのだと見えます。誰かに唯々いいたく諸々と付き従うのではなく、それぞれが自律的に動く、とても主体的なフォロワーシップとなるのです。「挑戦」とは、強いリーダーシップとともに、①ジュウナンで主体的なフォロワーシップがあつて初めて可能になると私は考えます。

発展している企業は、リーダーシップとフォロワーシップの両者がうまくかみ合っているように見えます。

『宇宙から学ぶ ユニバソロジーのすすめ』毛利衛

*NASA:アメリカ航空宇宙局。

国際宇宙ステーション:多国籍共同プロジェクトによって運用されている居住可能な人工衛星。

コマンダー:指揮官。

① 傍線部⑥・⑦・⑧・⑨のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方をそれぞれ答えなさい。

② 本文中の空欄【A】～【D】に入る最も適切な語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア もちろん イ ところどころ ウ だから エ そうして

③ 「a」カナダのコールドレークという極寒の基地で真冬にサバイバル訓練をおこなっています」とあるが、その訓練の目的を、本文中から十一字で抜き出さない。

④ 本文中の空欄 I ～ V には、㉠「リーダーシップ」か、㉡「フォロワーシップ」のどちらかが入る。それぞれ記号で答えなさい。

⑤ 「e」精神のバランスをくずしてしまっているのです」とあるが、このような状態になるのを防ぐためにはどうすればよいのか。本文の内容に合っているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。ア 自分の得意な部分には自信を持ち、弱点の部分は克服できるように努力を続ける。

イ 自分の得意な分野では主導権を握り、苦手な分野では何もせずに他者の指示を待つ。

ウ プライドは完全に捨てて、我慢しながらでも他者の言うことに耳を傾ける。

エ 自分の弱い分野を素直に認めてさらけ出し、その分野に関しては他者に委ねる。

⑥ 「f」リーダーシップとともにフォロワーシップがあつて初めて、プロジェクトという『挑戦』は成功するのです」とあるが、例えば、企業の場合は、どのような状態であればうまくいくのか。解答欄に合うように、本文中から三十字で抜き出して答えなさい。

⑦ 「g」これ」の指し示す内容を、本文中の語句を用いて二十五字以内で答えなさい。

⑧ 「h」一挙手一投足」のここでの意味として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ひとつひとつの動作や行動。 イ ちよつとした努力。ウ 日常的な立ち居振る舞い。 エ 最初から最後まで。

⑨ 「i」私はNASAの訓練で、徹底的にオープンにすれば物事はチームにとって健全な方向に進むことを学びました」とあるが、NASAの訓練中には、具体的にどのようなことがわかるようになるのか。傍線部①よりも後の本文中の語句を用いて、四十五字以内で答えなさい。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「私」は、十年前に脱サラして古本屋を始めた。今日は京都・下鴨でお盆の時期に行われる古本市に初めて出店し、昼前に妻の富貴子が珍しく手伝いに訪れてくれた。

何も報告がないということは、私の休憩中の売り上げはゼロだったようだ。ナンプレをしているぐらいだから暇だったに違いない。椅子はひとつしかないで、富貴子を座らせたまま私は隣に立ち、はがれそうな値札をつけなおしたりしていた。

そこに、大学生風の若いカップルが通りかかった。ふたりは手を繋いでおり、空いているほうの手もそれぞれうちわとペットボトル

で埋まっている。恋人なのだろう。

男の子のほうが、ひょいっと体をねじらせて叫んだ。

「ああっ！ イソギンチャク探偵・・・！」

一番端の百円均一箱に詰め込んであった漫画本に目を留めたらしい。瞳孔の開いた目、半開きの口。狂喜がにじみ出ている。

もう次のテントに行きかけていた女の子が、繋いでいた手に引っ張られるようにして振り返る。

「え、イソギンチャクで！」

女の子は顔を歪ませて笑った。男の子は持っていたうちわを反対側の小脇に挟み、不自然な格好で漫画に手を伸ばす。どうあっても彼女の手は離さへんのやな、と私は変なところで感心した。

「ちよっとタカハル君、まさか買うん？ この絵、不気味やん」

女の子が①眉をひそめてそう言った瞬間、②タカハル君と呼ばれた彼は、予想外の異物を口に含んだような顔をした。そして「はは」と力なく笑い、いったん漫画に触れた手を引っ込めてうちわを持ち直す。

ふたりはそのまま去っていったが、③私はなんとなくその漫画を箱から下げた。

『イソギンチャク探偵』。全三巻完結のうち、ここには二巻が一冊あるのみ。

発行は二十年ほど前になる。作者の音塚ブンが初期のころに描いていた少年向けの作品だ。

そんなに話題性のある漫画ではなかったし、たしかに絵が稚拙で気味悪い。音塚ブンはこのあと数作出したきりだと記憶している。あんな若い子がよく知っていたものだと思う。

主人公は、頭がイソギンチャクで胴体が人間の探偵である。ギャグ漫画ではあるのだが、ストーリーはなかなか深く、たまにほろっとさせられたりもする。彼は正義そのものでありながら、自分が毒を持っていることに苦しむデリケートな男なのだ。

この本は、流れ流れてうちの店にたどりついた。二巻だけのはぐれ者だった。正直なところ、私自身にそこまで情熱のある本ではない。でも、イソギンチャク探偵に魅せられた読者が必ずいるという確信はあった。

この世に本はたくさんある。いや、たくさんたくさんたくさん、さらにもっとたくさんだ。どんどん出て、どんどんどんどん消えていく。

だからこそ、こんなふうにはつんと置き去りにされた一冊を、私が預かっていてもいいんじゃないかと思うのだ。どこかでそのたった一冊を探し求めている誰かを、ゆっくり待ってしよう。

「あの」

声をかけられ、まるで手を打つようにポンと胸が鳴る。

ほら、来た。汗をかきながら、④息せき切って。

「イソギンチャク探偵、売れちゃいましたか」

タカハル君だ。箱の中に姿がなくて、【A】愕然としただろう。切なげな声で訊ねてくる彼に、私は満面の笑みで本を差し出す。

「取っというたで」

タカハル君はばあっと目を輝かせた。

「ええっ、ありがとうございます！ 僕がまた来るって、わかってたんですか」

「長年のカンというやつやな」

ジーンズの尻ポケットから財布を取り出し、タカハルくんは百円玉をよこした。そういえばうちわは、背中側の腰に差さっている。

私は紙袋に本を入れて渡した。⑤タカハル君はそれを両手で受け取る。これで『イソギンチャク探偵』二巻は、彼のものになった。

（中略）

タカハル君は頬ずりせんばかりに喜んでいる。

「彼女さんは？」

「トイレに行くっていうから、その隙に」

なるほど、それはさすがに手を繋いだままではいられない。タカハル君はふとうつむき、ひとりごとのようにつぶやいた。

「・・・不気味って言われて、趣味悪いと思われたくなくて。彼女とは好きなものも性格もだいぶ違ってた、僕が【B】合わせるように努力してるんですけど」

それまで黙っていた富貴子が、のんびりと言った。

「合わせんでも、ええやん」

へ、とタカハル君が顔を上げる。富貴子は続けた。

「それに、好きなものとか趣味は、まったくおんなじじゃなくてもええんやないの。性格違うほうがうまくいくこともあるで」

私がはっと富貴子に目をやるのと、タカハル君が「そうか」と答えるのがほぼ同時だった。

「そうですよね。イソギンチャクとクマノミだって、違う生物だけでも⑥持ちつ持たれつ補い合ってるんですけどもね」

タカハル君はそう言いながらうんうんとうなずき、「じゃあ！」と片手を挙げて走っていった。もう片方の手で、しっかりと本を抱えて。

「あんたの隣で初めて古本売りして、ちよっとだけわかったわ」

缶ジュースを一口飲み、富貴子が言った。

「あの本、ずっとタカハル君が迎えに来るって知ったんやな。長い間、ここでじいっと待ってたんやなって思った」

「・・・うん」

そうだ。

待っていたのは私だけじゃなくて、本も一緒だ。それを富貴子が感じてくれたことが、嬉しかった。このあとタカハル君があの本とどんな豊かな時間を過ごすのだろうと思うと、ほんとうに満ち足りた気持ちになる。私は互いを引き合わせることができたのだ。

「ええしごと、してるな。あんた」

ふいうちの富貴子の優しい声に、ほろっと涙が出た。

それは自分でも思いがけないことで、私はあわてて手ぬぐいの端で顔の汗を拭くふりをする。

富貴子は気づいていないのか【C】見ないふりをしているのか、本の群れのほうへ向かって言った。

「私な、あんたが会社辞めるって言ったとき、ほっとしたんよ」「え?」

「しかも古本屋やるって言うやろ。ああ、良かったなあって。あんた、サラリーマンやってたころ、⑧いつも無理してとんがって、誰かにキリキリ怒っちゃあ、そんな自分に落ち込んだからな」

そうだった。人を蹴落としながら頑張って成果を出しても、何かが違うと感じていた。自分の中に嫉みや傲慢さが湧き出てくること、しんどかった。【D】毒を持つ我が身に苦しむイソギンチャク探偵のように。

「・・・富貴子は不安にならんかったんか。金のこととか、本当にやっつけていけるのかとか」

「まあ、まったくないって言ったらウソやけど。でもそれまで会社勤めがんばって蓄えてきたんやし、このままじゃこの人、壊れてしまふんやないかなってそっちのほうが心配やったよ。古本屋って私にはようわからん世界やけど、あんたがあんたらしくいられるほうが何倍もおもしろいやん。私だっけと、私の好きなように生きてるし」

そうか、そうだったのか。そんなふうにも思ってくれていたのか。

【E】さっきの富貴子の言葉がよみがえる。たしかに彼女は、決して私に会わせたりしない。自分の道を自分で守り歩きながら、私を尊重してくれていたのだ。ずっと。

よかった、私は間違っていなかった。富貴子はそんなにも温かな想いで見守ってくれた。⑥私の人生で抜けていた「二巻」を、今やと読めた気分だった。

『月曜日の抹茶カフェ(抜け巻探し・葉月・京都)』 青山美智子

① 本文中の空欄【A】〜【D】に入る最も適当な語をそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

ア あえて イ さながら ウ きつと エ なるべく

② 「①眉をひそめて」、「④息せき切って」、「⑤持ちつ持たれつ」の意味をそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

ア 感受性が強く繊細なさま。

イ 互いに助け合うさま。

ウ 不快を感じて顔をしかめる様子。

エ 急いで行動すること。

③ 「①タカハル君と呼ばれた彼は、予想外の異物を口に含んだような顔をした。」とあるが、この時の「タカハル君」の心情として、適当なものを、次から選び記号で答えなさい。

ア 自分の好きなものを不気味と言われて動揺している。

イ 女の子の考えが分からなくなり、戸惑っている。

ウ イソギンチャク探偵を馬鹿にされて怒りを感じている。

エ 自分が好きなものを女の子にも好きになって欲しいと願っている。

いる。

④ 「③私はなんとなくその漫画を箱から下げた。」とあるが、その理由を二十五字以内で答えなさい。

⑤ 「②タカハル君はそれを両手で受け取る。」とあるが、その説明として適当なものを、次から選び記号で答えなさい。

ア 大きな本なので、落とさないように持つ様子。

イ 大事な宝物を受け取る様子。

ウ 急いでいるので早く受け取りたい様子。

エ 見られたくないの紙袋の口を閉じる様子。

⑥ 「⑧いつも無理してとんがって、誰かにキリキリ怒っちゃあ、そんな自分に落ち込んだ」とあるが、それを例えた「イソギンチャク探偵」の様子を、(中略)より前の文章から二十五字以内で抜き出して答えなさい。

⑦ 【E】に当てはまる富貴子の言葉を、本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

⑧ 「⑥私の人生で抜けていた「二巻」を、今やと読めた気分だった。」とあるが、その時の「私」の気持ちとして適当なものを、次から選び記号で答えなさい。

ア 自分の生き方に迷いはなかったが、富貴子には富貴子の生き方があると恐れ悲しくなった。

イ 自分の生き方は間違っているということを富貴子に指摘され、腹立たしく思った。

ウ 自分の生き方は自分で決めると思っていたが、富貴子に理解されず迷いが生まれた。

エ 自分の生き方に迷いや不安を持っていたが、富貴子が理解してくれていたことを知り、満たされた気持ちになった。

4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

J R山陽線が山陽鉄道と呼ばれ、①ジョウキ機関車が走っていた1895年(明治28年)3月、近代俳句の祖・正岡子規が日清戦争に従軍記者として②赴く途中、ここを通った。

子規が旅について記した「陣中日記」には、「六日朝福山の城を車窓の外に見る」として③裾山や畠の中の梅一本」という句が書かれている。

裾山とは大きな山の麓にある小山のこと。それはどこにあったのか。城の歴史に詳しい福山市立大学の八幡浩二教授(47)と最上階に上り、西の方角を見回した。八幡教授は「今でこそ周囲は④シガイチ化しているが、日清戦争当時は田園風景だった」と言う。案外、城の近くだったかもしれない。

福山市北部にある福山市しんいち歴史民族館の大目典正館長(72)は、昨春秋に開いた企画展のために子規と福山城の関わりを調べた。大目さんは裾山を、「駅から西に向かった列車が、芦田川を渡る手前か、川を通過するあたりで見えた小山では」とみる。

子規には〈福山の城を残して野分哉〉の句もある。様々な記録を分析した大目さんは「1891年、台風が通過した10日余り後の福山城近くを人力車で通った経験から作った」と推定する。

「明治時代になってd荒廃していた天守は、寂しげに見えたのでは」とも。

天守は戦時中の空襲でcシヨウシツし、コンクリートで再建された。築城400年記念のフィナーレとして、先月から夜間にデジタル技術をf駆使した体験型イベント「光の祭」が行われている。

子どもたちが色とりどりに光る卵形のオブジェに触り、歓声を上げていた。子規がこの光景を見たら、どんな句を作ったろうか。

読売新聞・2023年1月8日

① 傍線部a～fのカタカナは漢字に直し、漢字は読み方をそれぞれ答えなさい。

② g〈裾山や島の中の梅一本〉の句の季語と、その季節を答えなさい。

③ あなたの旅の思い出を百字以内で述べなさい。

